

北本市政レポート

発行者: 三宮ゆきお後援会 会長 阪下 操・北本の未来を考える市民の会 会長 金子真理子 事務局 北本市東間8-171 Tel 048-542-2319

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨夏は地球温暖化を実感する猛暑が続きましたが、秋からは、市内行事も以前同様に企画できるようになり、久々の『北本まつり・宵祭り』は姉妹都市会津坂下町の大俵引きが新たに加わり、7万5千人の方々に参加いただき盛大に開催出来ました。日常が戻ってきたことに安堵しつつ、コロナ後の社会のあり様を考慮した新たな取り組みに期待する次第です。

さて、三宮市政2期目が8カ月経過いたしましたので、市政への取り組みと市民からの質問にこたえていただきましたので報告いたします。(編集部)



10のお約束の具現化を進めていきます

編集部 選挙で市民の皆様にお示した約束がありました。現状と次年度に向けての方針等、お聞かせください。

1 小・中学校「給食費」の完全無償化と体育館のエアコン設置

市長 令和5年分は完全無償化できました。令和6年度分は昨年12月議会に補正予算を計上し、小学生の物価高騰分の補助と中学生の完全無償化を決定できました。小学生の完全無償化に関しては、県に補助制度の創設や国への要望を行っています。

体育館へのエアコン設置は、夏場は児童生徒の熱中症対策として、また災害時避難所の環境改善にもなるため、任期中に全校に導入できるようスケジュールや財源の確保を検討中です。

2 子どもの貧困・学びの権利を守るための給付型「奨学金」の創設

市長 制度創設に向けて、他団体の事例を研究し、対象や要件等の検討をしています。経済的理由により就学が困難な方への奨学金のほか、将来の夢の実現に向けた奨学金を給付できるような制度設計を検討中です。

3 民間事業者と連携し高齢者や障がいのある方にやさしい癒しのまち

市長 地域共生社会の実現に向けて、高齢の方や障がいのある方、生活に困窮されている方への支援の充実を図るため、予算拡充を検討しています。支援が必要な方への積極的な働きかけや継続的な支援、複数の関係機関での連携した支援などに加え、社会とのつながり確保のための自立支援や地域づくりを充実させたいと考えています。

4 官民連携によるあらゆる地球温暖化対策及び焼却ゴミの削減

市長 本市と包括連携協定を締結しているヤマト運輸が、電気自動車による市内配送を開始。また、ウォータースタンド社との連携により体育センターと総合福祉センターに給水スタンドを設置。マイボトル利用を促進することでプラスチックごみ削減につながる取組を開始できました。また環境省主導の、脱炭素につながる「官民連携協議会」へ参画し、先進事例等を収集しつつ連携企業を探索します。ごみの削減は「家庭ごみ資源分類マニュアル」を増刷し、引き続き広報紙等でごみ減量に向けた啓発を実施してまいります。

5 シティプロモーション事業の推進とふるさと納税を活用した地域活性化

市長 これまで、まちの魅力を磨き上げ、効果的な活用と発信に取り組んできた結果、市民の皆様の愛着度の向上や人口社会増への転換など一定の成果が得られました。全国広報コンクールで屋外仮設マーケット事業が対外的にも高い評価が得られています。引き続き、シティプロモーションの取組を継続するとともに、県内1位のふるさと納税の寄附金のさらなる活用により、まちの魅力の創造や磨き上げにつながる取組を推進してまいります。

6 久保特定土地区画整理事業の早期完成とデーノタメ遺跡の共存

市長 長年にわたる重要課題の解決に向け、昨年6月議会に区画整理や都市計画道路の見直しの手続に必要な経費等の補正予算を計上し、議会では全会一致で可決されました。令和6年度から7年度にかけて土地区画整理事業計画の変更等の手続きを行うとともに、デーノタメ遺跡の国指定に向けて、今年2月に文化庁に意見具申いたします。

7 市指定文化財カタクリ自生地の整備と遊休農地の利活用

市長 カタクリは市指定文化財であり市の野草に制定しています。自生地を整備し、歴史・観光資源としての普及促進を図るための整備計画を検討中です。水辺プラザ公園と野外活動センター周辺の遊休農地は、自然・環境資源が集約しているエリアですが、草刈りなどの手入れがされないため、雨水の滞留による水害や害獣被害、不法投棄などが懸念されます。これらの課題を解決するための効果的手法を検討中です。



8 民間事業者や学校とコラボした芸術、文化、音楽イベント等の開催

市長 まちづくりにおける「豊かさ」のひとつとして「文化」を根付かせるために、民間事業者や学校、地域の関係団体等との連携により、芸術、文化、音楽イベント等を開催することで、まちの魅力の創造・磨き上げを推進してまいります。現在、先進事例の調査・研究とあわせて地域資源の把握・整理を行い、北本市に適した手法を検討中です。

9 各世代のニーズに応じた健康・癒し遊具等の設置

市長 まずは全世代から要望の多い公共施設トイレの様式化や温水洗浄便座への改修に着手します。その後ニーズと優先度の整理を行い予算・スケジュールを検討し順次進めてまいります。

10 市民要望の強い安全安心な都市基盤の整備

市長 長くご不便をおかけしていた石戸下踏切の拡幅工事が令和7年度に完了予定、相互通行が可能になります。加えて、久保大通線から中山道までの連結道路を拡幅整備し、東西の道路ネットワークを構築する方針です。南大通り線の延伸については、県に要望をしてまいります。

編集部 ここからは、お寄せいただいた質問やご意見へ、お答えをいただきます。

新型コロナウイルス感染症によって、社会が変化し人々の価値観も大きく変化しました。これからの北本のまちづくりに据えたい観点はどのようなことでしょうか。

市長 社会変化を的確に捉え「真の豊かさ」を追求していくことが、今後のまちづくりのカギになると考えています。これまで個人として、また社会としても、上り列車に乗って東京・大阪・名古屋などの大都市で幸せ探しをすることが定番でしたが、これからは下り列車に乗って「ふるさと」や「魅力的な地方」で自分らしい暮らしを見つける時代です。

価値観が変化した上で、地域資源を正しく評価し、ローカルブランドとして高め、活用することで持続可能なまちづくりを進めることができると考えています。北本の魅力を市民の皆さんと見つけ、作り出していきたいと思っています。

北本の魅力に雑木林が残っていることがあげられます。8年程前に講演いただいた藻谷浩介氏（著書：里山資本主義他）が北本の雑木林を歩かれ「東京から一時間以内の軽井沢」と称されました。近年、緑地はどの位変化しているのでしょうか。

市長 平成17年度から令和2年度までの15年間で緑地が約80ha（約1割）が減っています。令和2年では緑地の面積は727.7ha（緑地率36.7%）です。民地であることから今後も宅地や道路の新設によって徐々に減少すると予測されています。文化財や希少植物は残せるよう努めます。



高齢者にやさしい福祉のまちは、若者にとっても住みやすいまちになります。支援が必要なところに届くよう福祉の充実に向けて新たな取り組みを教えてください。

市長 誰ひとり取り残さない「共生福祉社会」の実現を目指し『共生福祉課』を設置し、様々な福祉に関するお困りごとを受け止める『福祉相談窓口』を開設しました。懸念される8050問題やヤングケアラー問題等に対応できる体制を構築しております。

デノタメ遺跡 によせて

残したい！雑木林に眠る縄文人の暮らしと文化 デノタメ遺跡を国史跡にすべきと文化庁も提唱

昨年10月28日の新聞報道に、文化庁が国史跡にすべき42遺跡を挙げ、デノタメ遺跡も選ばれたとありました。確かにデノタメ遺跡は重要な遺跡。どのような点から重要と判断されたのか。市の展示会等で知る調査成果から探ってみました。

- 縄文中期から後期まで約1,500年間続き、南北約220m、東西約290mを測る関東有数の大規模集落遺跡である事。
 - 水場遺構から発見された1,000点もの鮮やかな赤や黒の漆塗り土器片からは高い縄文文化を知ることができ、漆塗装飾木製品等やオニクルミ・クリ・トチ等の堅果類や、マタタビ・クワ・キイチゴ等の種子類や、炭化したアズキなどからは、植物を多様に利用した食料確保の様子を知ることができる事。
 - 土器に残るダイズ圧痕は1cm以上と大きく、縄文時代にすでに栽培が行われていた事を示唆している事。
 - 台地の集落も低地の水場遺構も保存状態は良く、特に水場遺構は湧水が豊富で雑菌が少なく、酸素を遮断する粘土層にも覆われ、遺物を腐敗や酸化から守り、良好に保存してくれる事。
- 等々が挙げられます。まだまだ未調査部分が多く、森と泉に包まれ保存状

ふるさと納税はふるさと応援基金に積み立て、予算編成時に使途が検討されるそうですが、昨年度の使途状況は？

市長 北本市が受け付けたふるさと納税は、返礼品等の関係経費を除いた額を寄附者のご意思に基づき基金に積み立てています。充当事業は年度毎に十分に検討をして、有効に活用をしております。

令和4年度 ふるさと応援寄付金 充当リスト ベスト10

	事業名	充当額(千円)
1	こども医療費支給事業	125,000
2	予防接種事業	100,000
3	一般廃棄物処理施設整備基金積立事業	50,000
4	シティプロモーション推進事業	13,075
5	ひとり親家庭等医療費支給事業	10,000
6	新中央保育所建設事業	8,600
7	北本市商工会補助金交付事業	7,000
8	北本市観光協会補助金交付事業	7,000
9	広報紙発行事業	6,250
10	産業振興拠点施設情報発信等事業	5,990

集会ができるようになったので、市長と地域で直接意見交換ができる「車座集会」のような計画はありますか。

市長 今年5月以降、地域に出向き市民の皆様と意見交換できる機会を設けてまいります。昨年秋に呼んでいただいた居場所サロンでは「北本の魅力」をお話した後、参加者から早朝の交通課題等々の貴重な生のご意見をいただきました。



新ごみ処理施設整備ではCO2削減を強く要請されましたが新技術等の取り組みは具体化されているのでしょうか。

市長 脱炭素は時代の要請でもあり、次世代への責務です。中部環境保全組合では現状で考えられる方法を「新たな処理施設建設検討委員会」で、中間答申に向けご議論いただいているところです。引き続き、状況を注視していきます。

態が良い遺跡です。一日も早く国史跡指定をし、市民はじめ国の財産になることを願っていますね。(編集事務局)



デノタメ遺跡から見た縄文の食文化

令和6年1月20日(土)
13:00~16:30 文化センター

編集後記

平和な北本市で新年を迎えた私たちは、紛争の続く国々に今年は平和が訪れますようにと願い祈ることしか出来ずにいます。早く人類愛・慈しむ心を取り戻せますように。能登地震被災地へもお見舞い申し上げます。

インタビューは来年度の予算編成中でした。市民の要望や期待に応えたいとの市長の想いは伝わってきましたが、決定的なお答えは難しい時期でした。次世代につなぐ活気ある市政には住民との協働が求められます。市民参加が図れるようプロデュースいただきたいと思います。

お出掛けください 市政報告会

三宮ゆきおが語る、魅力ある北本市とその運営

2月3日(日) 午前10時~12時
文化センター第1・2会議室